



# 鶴嶺東スクラム

創刊号

発行責任者: 鶴嶺東まちぢから協議会 会長 小室正明

## 鶴嶺東地区まちぢから協議会がスタート

鶴嶺東地区まちぢから協議会 会長 小室正明

昨年9月に設立した当地区のまちぢから協議会は、5月21日に開催された第一回の総会で、本格的に活動をはじめました。

急速に進む高齢化社会での暮らしや、障がい者、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりのためには、地区の住民・市民が身近な問題について気軽に話し合い、顔の見える関係づくりや住民相互の連携を図り、「共助」の力を強くしていくことが求められています。それには、従来、自治会が担ってきたそれぞれの地域での自治活動に加えて、様々な組織、団体と横断的な連携が大切です。

私達、「鶴嶺東地区まちぢから協議会」は、地区内に潜在するであろう様々な課題を見出して、茅ヶ崎市と協力して解決していくための新たな地域コミュニティです。

みなんで、力を合わせて鶴嶺東地区を盛り上げていきたいと思います。

### 平成28年度総会報告

設立総会後の、初めての年次総会は、平成27年度の事業報告、決算報告、監査報告に続いて、平成28年度の事業計画、収支予算、役員選出などについて審議され、原案通り承認されました。この紙面では、その概要を報告します。

### 平成27年度事業報告

- ・ 設立総会 平成27年9月5日
- ・ 役員会と運営委員会は、協議会の運営や事業計画などの策定のために、それぞれ一回、部会二回その他、関連会議を実施。
- ・ 委員の公募を平成28年2月1日から、3月1日まで実施。

### 平成27年度収支決算報告

収入 (補助金)	¥94,816
支出	
事務消耗品	¥66,417
備品	¥9,990
通信運搬費	¥17,900
市への返還金	¥509
計	¥94,816

### 平成28年度事業計画

- 運営委員会・役員会
- ・ 事業の実施に関する協議
- ・ 協議会活動の周知に関する協議
- ・ 各種団体や地域住民等の参加方法に関する協議

### ○ 部会の開催

- ・ 防災減災部会
- ・ 環境安全部会
- ・ 地域福祉部会



### ○ 事業の実施

- ・ 鶴嶺東地区市民集会
- 認定コミュニティの申請

### 平成28年度収支予算

市より25万円の補助金を得て印刷費、連絡費などを賄う。



5月21日の総会にお集まりの皆さん

### 平成28年度 鶴嶺東まちぢから協議会 役員名簿



小室正明会長

会長	小室正明	鶴嶺東地区自治会連合会 会長
副会長	熊澤繁雄	鶴嶺東コミュニティセンター管理運営委員会 会長
副会長	増森鉄兵	鶴嶺東地区自治会連合会 副会長
書記	齋藤直樹	鶴嶺東コミュニティセンター管理運営委員会 副会長
会計	近澤光代	鶴嶺東地区自治会連合会 会計
監事	河本親秀	鶴嶺東地区社会福祉協議会 会長
監事	飯ヶ谷哲夫	鶴嶺東地区自治会連合会 監事

# 鶴嶺東地区まちぢから協議会とは

**Q. まちぢから協議会と茅ヶ崎市との関係は？**

A. 平成22年4月に施行した茅ヶ崎市自治基本条例において、「コミュニティ活動の尊重や市民と市の協働について定められ、この理念に沿って地域のまちづくりを活かそうと茅ヶ崎市から提案された新たな地域コミュニティが、まちぢから協議会です。これまでは、住民、すなわち鶴嶺東地区に住んでいる私たちでしたが、これからは、市民ということで、鶴嶺東地区内に地区外から通勤・通学する人々も含まれることとなります。

**Q. まちぢから協議会の目的は？**

A. 様々な個人や団体が、自分たちの地域について話し合い、課題を共有し、解決するために必要な取り組みを市と協働して行うことにより、地域社会を活性化させることにあります。それにより、地域の様々な事情を踏ま

**Q. 茅ヶ崎市内のまちぢから協議会の現状は？**

A. 第一期モデル地区として、浜須賀地区、湘南地区、松浪地区、小出地区が平成25年にスタートしてから今日まで当地区を含む10地区(平成28年3月末現在)が協議会を設立し、1地区で準備会が設けられています。

**Q. 鶴嶺東地区まちぢから協議会は、いつ設立したの？**

A. 平成26年8月に当地区協議会の設立準備会が、鶴嶺東地区自治会連合会の声掛けで発足し、関係諸団体との調整を経て、平成27年9月に鶴嶺東地区まちぢから協議会設立総会をもってスタートしました。

**Q. 協議会とはどんな団体・組織が参加しているの？**

A. 自治会連合会、地区社協、地区民児協、コミセン管理運営委員会、地区内自主防災組織、ボランティアセンター、青少年育成協議会、体育振興会、保護者会、子ども会、老人会、婦人会、環境指導員です。現在はこの参加団体で「防災減災」、「環境安全」、「地域福祉」の各部会を立ち上げて、話し合いをはじめました。

**Q. 話し合いの内容は？**

A. それぞれの部会において挙げられたものから、いくつかを列挙します。

### ■ 防災減災部会

- ・ ペットを含めた防災訓練を。
- ・ 自主防災訓練への情報提供、支援、事前指導を。
- ・ 安否確認を迅速にする方法、工夫が求められる。
- ・ 耐震ブレイカーの設置検討。
- ・ 定期的な9自治会合同の訓練を望む。等々。

### ■ 環境安全部会

- ・ 参道を通過する車のスピードが速すぎる。出にくい工夫を。
- ・ カーブミラーの増設を。
- ・ 通学路の安全確保。
- ・ 公園の通具増設、点検。
- ・ 空き屋問題。
- ・ 自転車対策。等々。

### ■ 地域福祉部会

- ・ 地域福祉は、高齢者だけでなく、乳幼児・小中学生も対象に考える必要がある。
- ・ 自治会加入促進を含めた地域福祉を。
- ・ ミニデイ・サロンの立ち上げで、参加者に手応えを感じている。等々。

**Q. 話し合った結果は？**

A. まちぢから協議会の中の団体、個人は対等な関係にあります。お互いに協力して解決出来る課題には、それに向かって協力することは当然ですが、双方、難しい課題もあるでしょう。まちぢから協議会の会議には、市の地域担当職員(市民自治推進課)が必ず出席します。市との

協働により、課題の共有が一層進み、関係機関との調整はもとより、優先して実行すべきことは事業として実施していくことが期待されます。

### 地区説明会が開催された

6月19日、行政による「新たな地域コミュニティの取り組みに関する地区別説明会」が、鶴嶺東「コミュニティセンター」で開催されました。



### 編集後記

この情報紙は、スクラムと名付けました。ご存じラグビーで使われているあの「スクラム」です。大勢が横列に腕を組んで、押し合うことです。様々な団体・組織が連携して課題に取り組むことをイメージしてつけました。これから、この小紙を通して、まちぢから協議会の活動をご報告してまいります。